



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月30日

上場会社名 スター精密株式会社
 コード番号 7718 URL <http://www.star-m.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 佐藤 肇
 (氏名) 城島 里見
 TEL 054-263-1111
 配当支払開始予定日 平成22年11月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	16,967	27.6	389	—	222	—	△1,082	—
22年2月期第2四半期	13,296	—	△2,003	—	△1,984	—	△2,974	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	△24.56	—
22年2月期第2四半期	△63.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	49,145	38,050	76.0	847.84
22年2月期	50,680	41,260	80.1	921.55

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 37,370百万円 22年2月期 40,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	11.00	—	11.00	22.00
23年2月期	—	11.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	21.7	900	—	800	—	△800	—	△18.36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年2月期2Q	51,033,234株	22年2月期	51,033,234株
② 期末自己株式数	23年2月期2Q	6,955,559株	22年2月期	6,965,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年2月期2Q	44,074,731株	22年2月期2Q	46,967,891株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきましては、発表日現在の情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成22年9月2日発表の予想数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成22年9月30日）別途開示しております「平成23年2月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 平成23年2月期連結業績予想の1株当たり当期純利益は、平成22年9月2日開催の取締役会決議に基づく自己株式取得による影響を考慮しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済情勢は、米国経済は回復が続いているもののスピードは鈍化し、欧州経済もユーロ加盟国の財政危機への懸念から回復のペースは低調に推移しました。一方、アジア経済は中国を中心に引き続き高い成長率となり、わが国経済も為替相場の円高傾向が続いたものの緩やかな回復が続きました。

当グループの主要関連市場におきましては、工作機械では堅調なアジア市場に加え、回復が遅れていた欧州での受注環境も改善し、特機事業や精密部品事業でも市況が改善してきたことから、需要が増加しました。

このような状況のなか、工作機械事業では、受注増加に対応して生産能力の引き上げに取り組み、売上の増加に努めました。特機事業では、中国市場に加え需要の回復がみられる北米市場などで売上が増加しました。一方、コンポーネント事業では、生産の減少に対応して構造改革を進めるとともに、車載市場向けなどの売上増加に努めました。精密部品事業では、腕時計メーカーの生産調整が終了したことや自動車市場やパソコン市場の需要回復などにより売上は増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は169億6千7百万円(前年同期比27.6%増)となりました。利益につきましては、売上の回復に加え、固定費などの削減効果もあり、営業利益は3億8千9百万円(前年同期は20億3百万円の損失)、経常利益は2億2千2百万円(前年同期は19億8千4百万円の損失)となりましたが、四半期純損益は、特別退職金の発生などにより10億8千2百万円の損失(前年同期は29億7千4百万円の損失)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(特機事業)

小型プリンタは、堅調に推移している南米市場に加え北米市場でも需要回復の兆しがみられ、サーマル製品の売上がPOS市場向けを中心に増加しました。また、内需拡大策を継続している中国市場では、ドットインパクト製品の売上がPOS市場向けの需要増加などにより増加しました。一方、景気回復が遅れている欧州市場は全体的に低調で、売上は前年同期並みにとどまりました。

以上の結果、当事業の売上高は39億7千5百万円(前年同期比25.6%増)となり、営業利益は4億2千5百万円(前年同期比292.7%増)と改善しました。

なお、環境に配慮したサーマルエコプリンタや米国市場向けにモバイルプリンタなどの新製品の販売を開始しました。

(コンポーネント事業)

当事業では、当期より事業の軸足を採算性の厳しい携帯電話向けから車載市場などに移しており、携帯電話向けの売上は大幅に減少しました。一方、車載市場関連では市況の回復に伴い、電子ブザーやスピーカーの売上が米国などを中心に増加しました。生産面では、携帯電話向けの売上減少に対応して、海外工場の人員削減などを行い体質の改善に努めました。

以上の結果、当事業の売上高は26億8千5百万円(前年同期比33.2%減)と大幅に減少し、営業損失2億5千万円(前年同期は6億3千5百万円の損失)となりました。

(工作機械事業)

CNC自動旋盤では、世界経済の回復に伴い、市況は長らく続いていた底這い状態から回復してきました。地域別では、中国をはじめとしたアジア市場においては自動車、自動二輪関連先などの設備投資が増加し、昨年後半から前年同期を上回る受注を続けています。米国市場においては、医療関連への営業活動に注力し、受注実績は堅調に推移しています。また、最も厳しい状況が続いていた欧州市場も当期に入り、受注環境が改善してきました。製品別では、SRシリーズやコストパフォーマンスに優れたSBシリーズを中心に売上が増加しました。

以上の結果、当事業の売上高は81億5千7百万円(前年同期比74.1%増)と大幅に増加し、営業利益は6億8千2百万円(前年同期は4億6千5百万円の損失)と大幅に改善しました。

なお、医療・自動車・航空機産業分野などでのチタンをはじめとする難削材複雑形状部品の加工をターゲットとした新製品ST-38の販売を開始しました。さらに下期後半に新製品SB-20および小物精密部品用ターニングセンタの販売を予定し、CNC自動旋盤市場での販売シェアの拡大を目指します。

(精密部品事業)

腕時計部品は、顧客メーカーの生産調整が終了したことから需要の回復基調が継続し、売上は大幅に増加しました。また、非時計部品では、自動車市場の回復に伴いカーオーディオ向け部品が好調に推移したほか、小型ハードディスク駆動装置(HDD)部品は後半にかけてメーカーの生産調整があったものの、売上は増加しました。

以上の結果、当事業の売上高は21億4千9百万円(前年同期比50.4%増)と大幅に増加し、営業利益は3億5千5百万円(前年同期は1億6千6百万円の損失)と大幅に改善しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は491億4千5百万円となり、全体に為替の影響を受けたことにより前期末に比べ15億3千5百万円減少しました。資産は、投資の抑制や有価証券の減損などにより固定資産が減少したことに加えて売上債権などが減少しました。負債は、主に生産の回復により仕入債務が増加したため、前期末に比べ16億7千4百万円増加しました。純資産は、為替換算調整勘定の減少や、四半期純損失および配当金の支払いにより、前期末に比べ32億1千万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成22年9月2日発表の予想数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成22年9月30日)別途開示しております「平成23年2月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、見通しの前提となる下期の為替レートは、USドルは85円、ユーロは105円であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(追加情報)

(退職給付引当金の数理計算上の差異及び過去勤務債務の費用処理年数の変更)

従来、数理計算上の差異及び過去勤務債務の費用処理年数は14年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を13年に変更しております。

なお、この変更が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,983,164	15,349,615
受取手形及び売掛金	8,623,204	9,114,321
有価証券	126,184	25,381
商品及び製品	5,718,332	5,883,573
仕掛品	2,423,519	2,057,288
原材料及び貯蔵品	1,276,920	1,078,657
繰延税金資産	236,759	229,343
その他	938,830	1,051,703
貸倒引当金	△418,565	△444,366
流動資産合計	33,908,350	34,345,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,142,328	5,004,413
機械装置及び運搬具（純額）	2,871,609	3,053,607
工具、器具及び備品（純額）	671,966	742,844
土地	2,452,230	2,458,316
リース資産（純額）	43,918	49,072
建設仮勘定	3,000	369,588
有形固定資産合計	11,185,054	11,677,842
無形固定資産		
のれん	2,310	9,616
その他	257,594	299,350
無形固定資産合計	259,905	308,966
投資その他の資産		
投資有価証券	2,397,686	2,778,282
繰延税金資産	591,727	682,264
その他	802,772	904,397
貸倒引当金	△24	△16,446
投資その他の資産合計	3,792,162	4,348,498
固定資産合計	15,237,122	16,335,306
資産合計	49,145,472	50,680,824

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,211,079	2,815,979
短期借入金	2,000,000	2,000,000
リース債務	10,823	10,823
未払法人税等	156,926	226,036
賞与引当金	568,404	588,521
その他	2,695,352	3,186,895
流動負債合計	10,642,585	8,828,254
固定負債		
リース債務	35,290	41,604
退職給付引当金	42,717	43,148
その他	374,545	507,365
固定負債合計	452,554	592,118
負債合計	11,095,140	9,420,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,721,939	12,721,939
資本剰余金	13,876,517	13,876,517
利益剰余金	25,019,778	26,587,299
自己株式	△7,025,619	△7,036,152
株主資本合計	44,592,615	46,149,603
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	111,324	61,303
為替換算調整勘定	△7,333,182	△5,600,910
評価・換算差額等合計	△7,221,858	△5,539,606
少数株主持分	679,575	650,453
純資産合計	38,050,332	41,260,450
負債純資産合計	49,145,472	50,680,824

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	13,296,147	16,967,348
売上原価	9,941,358	11,225,596
売上総利益	3,354,788	5,741,751
販売費及び一般管理費	5,358,702	5,352,713
営業利益又は営業損失(△)	△2,003,914	389,038
営業外収益		
受取利息	113,032	77,834
受取配当金	19,254	20,932
投資有価証券評価益	45,100	—
特許収入	9,686	11,481
雑収入	99,437	26,386
営業外収益合計	286,511	136,633
営業外費用		
支払利息	10,296	5,640
為替差損	254,520	272,585
雑損失	2,015	24,776
営業外費用合計	266,832	303,002
経常利益又は経常損失(△)	△1,984,234	222,669
特別利益		
固定資産売却益	11,151	27,326
貸倒引当金戻入額	—	16,437
特別利益合計	11,151	43,763
特別損失		
固定資産処分損	87,973	5,455
投資有価証券評価損	—	246,445
特別退職金	315,974	911,612
特別損失合計	403,948	1,163,513
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,377,032	△897,080
法人税、住民税及び事業税	196,505	532,235
法人税等調整額	363,863	△398,817
法人税等合計	560,369	133,418
少数株主利益	36,697	51,808
四半期純損失(△)	△2,974,099	△1,082,307

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。